

第7回 本明川ダム建設事業費等監理委員会 議事要旨

■開催概要

- 開催日：平成30年11月14日（水）
- 開催場所：国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所

■事業概要

- 実施箇所：長崎県諫早市
- 事業期間：平成2年度～平成36年度
- 総事業費：約500億円

■報告内容（概要）

- 主な事業の進捗状況
 - ・用地買収の進捗状況、付替県道の進捗（平成29年度に着手）、付替市道・工事用道路の進捗（平成30年度着手予定）を報告。
 - ・平成30年度実施予定の付替道路や工事用道路、ダム本体調査設計、環境調査検討等を説明。
- 主な事業の進捗の見込み
 - ・本明川ダム概略工程にて、用地補償、付替道路、工事用道路及びダム本体工事の進捗予定について説明。
 - ・平成30年度に付替市道、工事用道路に新たに着手することを報告。
- コスト縮減
 - ・平成30年度予定工事でのコスト縮減内容等について説明。
 - ・ダム母材の有効活用によるコスト縮減。
 - ・建設発生土（転石）を他事業へ有効活用することによるコスト縮減。
 - ・擁壁位置を前出しすることによるコスト縮減。

■審議での主な意見

- 予算や用地、設計等の進捗状況を踏まえた全体工程について、把握に努めること。
- 今後も事業効率化や最新の知見等の活用、他機関との連携など更なるコスト縮減に努めること。
- 環境に配慮して事業を進めていることを確認した。引き続き在来種の活用、生き物の生息場の連続性確保などに留意すること。また、ダム完成後の環境保全の側面から、管理設備運用などの技術的な検討を今後行う必要がある。
- ダム事業と併せて色々な治水対策について広報に努めること。